

ま え が き

今回の小山工業高等専門学校における自己点検評価報告書の刊行は、平成4年の第1回から数え、平成19年に次ぐ第6回目にあたります。

今回の自己点検評価を行った期間は、独立行政法人に移行後2回目にあたります。独立行政法人国立高等専門学校機構に移行後は、これまでのいわば、国による護送船団方式の学校運営から、各高専が高専機構により作成された中期計画に沿って自らが主体的かつ計画的に特色ある学校運営を行っていくことが求められ、また、時を同じくして激化したグローバル化や高度情報化、少子高齢化などによる社会構造の変化や国の行財政の厳しい状況など、高等専門学校を取り巻く状況の劇的変化に対応して、教育の個性化、活性化、高度化に向けた教育力の質の保証とその向上とともに地域社会への貢献への努力が以前に増して求められた時期にあたります。

従って、このような高専を取り巻く状況ならびに時代背景のなかで、時代の先行き、要請を正確に捉えつつ、高等教育機関としての役割をこれからも確実に果たしていくためには、組織がその設置目的や目標に沿って十分に機能しているかどうかを定期的、継続的に自ら点検評価して、それに基づき学外の方々による評価やアドバイスを受け、改革、改善のサイクルを回し続けることは、今後の発展を目指すうえで、重要かつ不可欠な要件となります。

本校では、学外有識者の意見を仰ぐため、小山工業高等専門学校外部評価委員会を設置し、本校の教育研究および学校運営に関して評価と勧告をしていただくことになっており、この報告書はそのための基礎資料としても活用されることになっております。

また、本報告書および外部評価委員会による評価結果は、本校の教育研究活動などを広く社会からの理解と支持を獲得する好機であるとして捉えて公表するとともに、外部評価委員会の評価結果や勧告を真摯に受け止め、将来のさらなる発展の礎とし、地域に根ざした高等教育機関としてより魅力のある小山高専に更に発展させる諸施策策定に活用させて頂きたく存じております。

終わりに、この報告書のとりまとめに当たられた方々のご尽力に対し、心から感謝いたします。

平成22年6月30日

小山工業高等専門学校
校長 荻谷 勇 雅